

福島

その先の環境へ。

中間貯蔵施設区域及びその周辺の 動・植物等調査結果(2025年度)

2026年5月

環境省

動・植物調査の結果(令和7年度)

本業務は、中間貯蔵施設事業としての除去土壌等の輸送に際し、動・植物への影響の有無を確認するため、中間貯蔵施設区域内及びその周辺において調査を実施しました。

双葉町(中間貯蔵施設区域及びその周辺)

●調査時期

- ・ 5月～11月及び2月～3月(昆虫、植物、猛禽類)

●調査項目

- ・ 昆虫* : 17目174科678種

トゲアリ、モンスズメバチ、スゲドクガ等が確認されました。

- ・ 植物* : 105科468種

ヒイラギ、エビネ、コ克蘭等が確認されました。

今回の調査では、前回同様、普通種や県・国のレッドリスト掲載種が複数確認されました。前回の同じ季節の調査結果比較では、陸生動物(昆虫)及び植物の現在の生物相は大きな変化はないと考えられました。したがって、中間貯蔵施設内・外に顕著な差は確認されず、事業による影響が生じている可能性は低いと判断されました。

●猛禽類(毎年調査)

巢内育雛期及び巢外育雛期にあたる夏季にミサゴ、ハチクマ、ハイタカ、オオタカ、サシバ、ノスリ、チョウゲンボウ、ハヤブサが、求愛・造巢期にあたる冬季にミサゴ、ハイロチュウヒ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサが確認されました。

大熊町(中間貯蔵施設区域及びその周辺)

●調査時期

- ・ 5月～11月及び2月～3月(昆虫、植物、猛禽類)

●調査項目

- ・ 昆虫* : 19目257科1261種

ケシゲンゴロウ、モートンイトトンボ、モンスズメバチ等が確認されました。

- ・ 植物* : 112科565種

サネカズラ、ヒイラギ、ナツエビネ等が確認されました。

今回の調査では、前回同様、普通種や県・国のレッドリスト掲載種が複数確認された。前回の同じ季節の調査結果比較では、陸生動物(昆虫)及び植物の現在の生物相は大きな変化はないと考えられました。したがって、中間貯蔵施設内・外に顕著な差は確認されず、事業による影響が生じている可能性は低いと判断されました。

●猛禽類(毎年調査)

巢内育雛期及び巢外育雛期にあたる夏季にミサゴ、ハチクマ、ハイタカ、オオタカ、サシバ、ノスリ、ハヤブサが、求愛・造巢期にあたる冬季にミサゴ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサが確認されました。

*: 3年間隔で調査 植物・昆虫: 令和4年度 / 哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類: 令和5年度 / 魚類・底生生物: 令和6年度